

ジブリ作品を通じて 日本の心を世界に伝えたい

株式会社スタジオジブリ
代表取締役社長

星野 康二

さん 創価大学文学部卒業

公開中の長編アニメ映画

『風立ちぬ』のメインテーマは「生きねば」。「この一言に宮崎駿監督の強い思いが表れていると思います」とスタジオジブリ社長の星野さん。『風立ちぬ』は、零戦の設計者・堀越二郎と同年代を生きた文芸者・堀辰雄の二人を融合した主人公・二郎が正から昭和にかけてどう生きたかを描いた作品だ。結核を病む少女・菜穂子とのせつないラブストーリーには涙が溢れる。

ジブリ作品は海外でも人気が高い。しかし、戦闘機がスクリーンに躍る今作品を海外で一般公開するには、難しい面もあるのでは。

「確かに、時期的に今は難しいかもしれませんが。ただ、作品の根底には反戦の精神が流れています。先日、中国、台湾、韓国、フランス、アメリカ、オーストラリアなどの関係者を招いて行った試写会では、



主人公の真摯な姿に感動した人間が生きているということの本質を描いた作品だ、と高い評価をいただきました」と星野さん。

そもそもジブリが海外で評価される道筋をつけた人物こ

スタジオジブリ本社で

創価大学は、創立以来、国際社会で活躍するグローバル人材の育成に力を入れてきました。現在、世界の交流校は四六カ国・地域の一一一大学に及び、長期・短期を含め昨年は約七〇〇名が海外に留学しています。二〇一四年四月には、国際性、学際性、実践力の三つの力を養成する国際教養学部も誕生。卒業生は、国内外で幅広く活躍しています。

そ、星野さんであ

る。一九五六年、札幌に生まれた星野さんは、中学時代から英語が好き

で、高三の時に奨学金を得て一年間のアメリカ留学を

経験。創価大学在学中も四年次にアメリカに留学し、

卒業後はニューヨーク州立大学大学院に進んでMBA

を取得した。その後、ウォルト・ディズニー・ジャパンに入社し、日本

でディズニービデオの販売を手掛けるなか、ジブリ作品を海外に紹介したい

と、宮崎監督や鈴木敏夫プロデューサーに熱い思いをぶつ

けた。そして『もののけ姫』や『千と千尋の神隠し』などの

海外配信を任せられ、世界的

な大ヒットにつながった。

星野さんのようにグローバルに活躍するにはどんな力が必要なのか。

「語学力は必須ですが、その上で言えば、人間に対する探究心を失わないことだと思います。その意味で、平和社会を築くために献身的な行動の模範を示しているのが

創価大学の創立者です。私たちの可能性を信じ励まし続けてくれたことが、その後の人生の節目節目でどんなに大きな力となったか計りしれません」

ジブリ作品は作家性が強く、それが大きな魅力となっている。しかし、良い作品を生み出すには安定した財政基盤が欠かれない。「ジブリの経営は、ある意味、未知への挑戦」という星野さん。ひたむきに

仕事に打ち込むその姿は、『風立ちぬ』の主人公・堀越二郎にも重なる。

Koji Hoshino



ほしの：こうじ／一九五六年、北海道札幌市生まれ。八一年、創価大学文学部卒業。ニューヨーク州立大学大学院修了。MBA取得。九〇年、ウォルト・ディズニー・ジャパン入社。二〇〇〇年、同社代表取締役社長。〇七年、同社長。〇八年、株式会社ジブリ代表取締役社長に就任。

